

令和3年 第3回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (17人、55項目)	備考
1	北浜 けんいち	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市の職員の災害時の、他自治体への災害派遣について 2 稲城市内における盛土造成地の状況について 	
2	つ の じ 寛 美	<ul style="list-style-type: none"> 1 市内の交通安全対策について 2 放課後子ども教室の更なる取り組みについて 3 不登校傾向などの生徒や保護者への進路説明会について 4 発達支援センター「レスポ—いなぎ」の更なる取り組みについて 	
3	山 岸 太 一	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者負担の軽減によって、誰もが安心して利用できる介護保険制度に向けて 2 多様な体験により子どもたちの成長に結びつく放課後子ども教室の実現に向けて 3 必要としている人が利用できない学童クラブ待機児の解消にむけて 4 危険な大規模盛土工事の点検と見直しによる安全なまちづくりに向けて 	
4	市 瀬 ひ さ 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市におけるデジタル化の推進について 2 介護予防の取り組みについて 3 稲城市立病院助産師による出張講座の更なる活用と、相談窓口の拡充について 	
5	村 上 洋 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市における子どもの権利擁護について 2 特別支援教室の現状と課題、今後の取り組みについて 3 新型コロナウイルス感染症対策について 	
6	坂 田 た け ぶ み	<ul style="list-style-type: none"> 1 南山東部土地区画整理事業について 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び関連イベントについて 3 稲城市指定文化財の活用について 4 土砂災害に関するソフト対策について 	
7	佐 藤 し ん じ	<ul style="list-style-type: none"> 1 水害対策について 2 市民サービスの更なる向上について 	
8	角 田 政 信	<ul style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における公園利用について 2 スケートボード競技について 3 SNSの正しい使い方について 	
9	岡 田 ま な ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナ対策(入院・療養、ワクチン、予防・検査、補償、学校)について 2 子どもの権利と中学校の校則、生活指導について 3 通学路の安全対策について 4 少人数学級の拡充について 	
10	川 村 あ や	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業と高架下の利用について 2 市内農家の担い手の確保と支援について 	
11	武 田 ま さ ひ と	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症感染拡大のもと、自然災害発生時の対応について 2 コロナ禍における市主催のイベント開催の可否について 3 稲城市の緑の保全について 4 土砂災害から市民の安全を守る為の稲城市の取り組みについて 	

12	いそむら あきこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 保育の質の確保・向上について 2 子どもの事故予防について 3 コロナ禍の妊娠・出産について 	
13	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 大丸都営跡地の活用について 2 私立保育園への補助について 3 市立病院の耳鼻咽喉科について 4 バスの運行本数の拡充について 5 稲城市内のナラ枯れの対策について 	
14	梶浦 みさこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 小学校と幼稚園・保育所等の連携・接続(幼保小連携)の強化について 2 児童・生徒の多様な才能に配慮・支援する教育について 3 父親の積極的育児を応援し、パパもママも参加しやすい市事業や市施設の環境整備について 	
15	あらい 健	<ul style="list-style-type: none"> 1 コロナ感染拡大から市民を守るために 2 坂浜のまちづくり 3 市内交通の拡大に向けたとりくみについて 4 平尾の交通渋滞の解決について 	
16	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> 1 子どもへの新型コロナウイルス感染症の感染が増え始めている中で の小・中学校の感染対策について 2 新型コロナワクチン接種が進んできた中での高齢者の自主グループ 活動について 	
17	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災と救急に関する稲城市の取り組みについて 2 稲城市立小中学校の教室・教員確保、タブレットの活用について 3 稲城市姉妹友好都市との交流活性化について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城市の職員の災害時の、他自治体への災害派遣について</p> <p>静岡県熱海市伊豆山地区で発生した土砂災害現場に稲城市消防本部より、緊急消防援助隊を派遣致しました。7月3日から10日までの8日間に、3回に分けて23人の消防職員が、救助活動を行った事を、緊急消防援助隊活動報告で説明を頂きました。また、友好都市である福島県相馬市には、東日本大震災以降、市の職員を現在も派遣しております。そこで、市の職員の災害派遣のこれまでの状況と、派遣職員に対する処遇について市の見解を伺います。</p> <p>(1) 現在までの職員の災害派遣の状況について</p> <p>①一般職の職員について ②消防職の職員について ③医療職の職員について</p> <p>(2) 派遣職員の選任について</p> <p>①一般職の職員について ②消防職の職員について ③医療職の職員について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 派遣職員に対する手当等の現状と見直しについて</p> <p>①一般職の職員について</p> <p>②消防職の職員について</p> <p>③医療職の職員について</p>	
2	<p>稲城市内における盛土造成地の状況について</p> <p>本年7月3日に、静岡県熱海市伊豆山地区において、大規模な土石流が発生しました。静岡県の調査によると、土石流の土砂の大半が、土石流の起点にある盛土と見られるとの見解が、報道されました。</p> <p>また、熱海市のハザードマップを確認したところ、被害を受けた箇所は一部、土石流や地滑り、急傾斜地の崩壊などのエリアに、指定されていました。</p> <p>稲城市内にも、大規模盛土による造成地や土砂災害警戒区域等に指定されている箇所が、存在しております。熱海市とは地形等の状況は異なると思いますが、市民の中には、心配されている方もいらっしゃると思います。</p> <p>そこで、稲城市内における大規模盛土等の現状及び対応について、市の見解を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市内の交通安全対策について</p> <p>本年6月28日に、千葉県八街市において、通学路を下校中の小学生の列にトラックが突っ込み、5人の児童が死傷する事故が発生しました。</p> <p>また、令和元年5月8日、滋賀県大津市において、お散歩中の保育園児らの列に車両が突っ込み、16人の園児らが死傷する交通事故も発生しています。このような、悲惨な交通事故を未然に防止するための交通安全対策について伺います。</p> <p>(1)交通事故の発生状況について伺います。</p> <p>①令和2年中、市内における交通事故の件数、また、児童や幼児が関与する交通事故件数について伺います。</p> <p>②児童及び幼児が関与する交通事故内容について伺います。</p> <p>(2)交通安全の取り組み状況について伺います。</p> <p>①市内の道路における安全点検について伺います。</p> <p>②安全点検の結果による対策について伺います。</p> <p>(3)今後の取り組み状況でハード面・ソフト面について伺います。</p>	
2	<p>放課後子ども教室の更なる取り組みについて</p> <p>公明党が児童の安心な居場所として提案して、平成27年度から市内全小中学校で実施しています。</p> <p>放課後子ども教室事業については、堅実な運営が</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>図られ、児童の放課後における安全な居場所づくり事業として定着してきたと考えます。今般のコロナ禍における感染防止対策をはじめ、夏には熱中症対策など、年間を通じて安全で安心な放課後子ども教室事業の運営に携わっているスタッフ等関係者のご尽力に対しまして感謝申し上げます。そこで、改めて、現在の放課後子ども教室の状況について伺います。</p>	
	(1) 事業概要及び実施状況について伺います。	
	(2) 事業運営について	
	① 子どもたちは、教室でどのように過ごしているのか伺います。	
	② 教室での過ごし方などについては、子どもたちやその保護者からの意見の反映等の取り組みについて伺います。	
	③ 他市と比較して稲城市における特徴的な取り組みを伺います。	
	(3) 今後の取り組みについて伺います。	
3	不登校傾向などの生徒や保護者への進路説明会について	
	<p>進路で悩む不登校傾向の生徒や全ての保護者に、進路情報を提供できる説明会の開催と、説明会開催の情報が行き届くようにしてほしいとのお声を頂きました。世田谷区で進路説明会が開催されて、コロナ禍の影響で会場参加とオンライン参加があり、担当者の承諾も頂き、私もオンラインで視聴させていただきました。</p>	
	(1) 稲城市の不登校傾向の中学生の現状について	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	日本共産党	山岸太一

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>利用者負担の軽減によって、誰もが安心して利用できる介護保険制度に向けて</p> <p>今年の8月から介護保険の施設利用者の負担軽減制度の「補足給付」が見直され、一部の利用者のさらなる負担増が実施されました。負担の実態を明らかにし、負担軽減により安心して利用できる介護保険制度実現を求める立場から質問します。</p> <p>(1)「補足給付」の見直しによる大幅値上げについて</p> <p>①8月から実施された「補足給付」の見直し内容について聞きます。</p> <p>②「補足給付」を利用している人数と、8月の見直しによって影響を受ける人数について聞きます。</p> <p>③国に対して「補足給付」の要件を2005年10月のスタート時点に戻すことを求めるべきと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>多様な体験により子どもたちの成長に結びつく放課後子ども教室の実現に向けて</p> <p>放課後子ども教室の活動内容について、保護者から様々な声が寄せられています。他市で実施されているような多様な活動の実施も含めた放課後子ども教室の質の向上を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 目的・役割について</p> <p>①放課後子ども教室の目的と、当市における運営体制について聞きます。</p> <p>②「学童保育」との役割、性質の違いについて聞きます。</p> <p>(2) 内容について</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後での活動内容の変化について聞きます。</p> <p>②7月に実施された「保護者向けアンケート」の回答・集計状況について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>③他市で行われているような文化・芸術・スポーツなどのテーマごとの活動実施について認識を聞きます。</p> <p>必要としている人が利用できない学童クラブ待機児の解消にむけて 学童クラブの待機児について、多摩地域の少なくない自治体が「学童クラブは全員入所を基本としている」「入所要件を満たしているなら全員入所できるようにしている」としている実態が明らかになりました。子育て支援の基本である、学童を必要としている人が必要な時に利用できることを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 待機児と定員の根拠について ①「待機児」の定義について聞きます。 ②各クラブの定員の決め方について聞きます。</p> <p>(2) 待機児解消について ①直近のクラブ毎の定員数、入所者数、空き数、申し込んだけれど入所できていない数について聞きます。 ②学童の入所要件を満たした希望者が利用できていない状況に対する認識について聞きます。</p>	
4	<p>危険な大規模盛土工事の点検と見直しによる安全なまちづくりに向けて 熱海市伊豆山で起きた土石流災害は甚大な被害となっています。その大きな原因としてあまりに杜撰な盛土工事であったことが指摘されています。市内の盛土造成地の現状について総点検を行うこと、危険な盛土工事は見直すことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 市内の大規模盛土造成地の全容について ①国の「大規模盛土造成地の滑動崩落対策」に基づく変動予測調査の内容について聞きます。 ②第一次スクリーニングの実施状況と市内の大規模盛土の状況について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>③ 第二次スクリーニングの実施状況および今後の予定について聞きます。</p> <p>(2) 「根方谷戸高盛土工事」・「ランド谷戸高盛土工事」について</p> <p>① それぞれの工事の概要について聞きます。</p> <p>② 平成19年6月12日付「造成工事検討委員会答申書」における「雨水、湧水排水処理対策」および「施工に対する要請事項」の審議結果の主な内容について聞きます。</p> <p>③ 「根方谷戸高盛土」について、区画整理組合解散後の監視・保全・補修を市の責任で行うことについて認識を聞きます。</p> <p>④ 「ランド谷戸高盛土工事」について、最新の知見や気象環境を取り入れた見直しが必要ではないかと考えるが認識を聞きます。</p>	<p>市長答弁を 求める</p> <p>市長答弁を 求める</p>

通告番号	会 派 名	氏 名
4	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城市におけるデジタル化の推進について</p> <p>本年5月、公明党の提言が反映されたデジタル改革関連法が成立致しました。これに伴い行政手続きのオンライン化等による、行政サービスの充実、行政運営の効率化等が推進すると考えられます。また、官民のデジタル化の司令塔としてのデジタル庁が9月1日に創設されます。稲城市においてもICT推進課が中心となり、各課との連携を図りながら、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の推進に大いに期待致します。</p> <p>現在の行政サービスは申請主義となっており、市民が情報を知らなかったことでサービスを受けられないケースが存在します。スマートフォンやタブレット等のモバイル端末が普及している中、デジタル技術を活用した情報提供がその解消の一助となると考えます。申請主義の弊害解消を目指して、住民の問い合わせを待たずに必要な行政サービスにつなげていく、プッシュ型の仕組みが各地で進められています。そこで、デジタル技術を活用したプッシュ型行政サービスの現状と今後の展望について伺います。</p>	
2	<p>介護予防の取り組みについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内において活動が自粛されていた高齢者の交流の場、活動の場が段階的に活動を再開されています。しかし緊急事態宣言下で外出自粛が長引くことにより、身体を動かさなくなるばかりか、人との交流が減り、社会的孤立に陥りやすい高齢</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>者が増えているとも言われています。不安を抱え込みやすいコロナ禍において、心身の健康管理と人とのつながりを継続する、新しい生活様式に対応した介護予防の取り組みも必要ではないかと考えます。</p> <p>(1) 介護予防の継続支援の取り組みについて、現状を伺います。</p> <p>(2) コロナ禍における介護予防の課題について伺います。</p> <p>(3) コロナ禍において、高齢者が健康維持を目指し、散歩や体操等を一人で継続することはなかなか難しいと考えます。みんなと続ける習慣化スマホアプリ「みんなチャレ」を活用し、高齢者のつながりと運動を継続する仕組みを提供する「フレイル予防事業」は、府中市が先行導入し、7月に横須賀市、8月に西東京市、その後実証事業として展開が予定されています。自治体での非対面による新たな介護予防を支援する「みんなチャレ」を活用した介護予防事業の実施について、稲城市の認識を伺います。</p>	
3	<p>稲城市立病院助産師による出張講座の更なる活用と、相談窓口の拡充について</p> <p>新型コロナウイルスによる休校措置期間があった昨年、「にんしん SOS 東京」に寄せられた10代からの妊娠相談件数は、前年の1.8倍にも増えたと言われています。</p> <p>未知のコロナ禍での不安も募り、誰かに寄り添ってほしいといった傾向や、外出自粛の影響等から、コロナ禍における10代の妊娠相談が増加したことには多くの要因があると考えられます。また、学校現場での学習指導要領による限定的な性教育により、正しい知識を得る機会や、相手との対等</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>な関係の築き方、性的同意の取り方について学ぶ場がないことで、10代の予期せぬ妊娠に至っているとも言われています。誰にでも起こり得る、予期せぬ妊娠を回避するための学びも重要ではないかと考えます。そこで、一人ひとりが大切な人間であることを再認識し、「生きる力」を育ていけるよう、一緒に考える、稲城市立病院助産師による出張講座「性に関する健康教育講座」の更なる活用と思春期における心と身体、性に関する相談窓口の拡充について伺います。</p> <p>(1) 助産師による出張講座の立ち上げから取り組みに至る経過について伺います。</p> <p>(2) 出張講座の課題について伺います。</p> <p>(3) 助産師や思春期保健相談士等に、性や思春期の悩みを気軽に相談できる取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
5	市民クラブ	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	<p>稲城市における子どもの権利擁護について</p> <p>東京都は、令和3年3月、「東京都こども基本条例」を策定し、「こどもの権利擁護」について</p> <p>第十四条 都は、こどもの健やかな成長を支援するため、権利侵害その他の不利益を受けた場合等において、専門的知見に基づいて適切かつ迅速にこどもの救済を図ることができるよう、国、区市町村その他の関係機関と連携し、社会状況の変化に応じ、こどもの権利及び利益を擁護するための体制の充実その他の必要な措置を講ずるものとする。</p> <p>と明記しました。</p> <p>これを参酌し、稲城市における子どもの権利擁護がどのように行われているかを点検し、取り組んでいく必要があるものと考えます。</p>	
	<p>(1) 稲城市における「子どもの権利擁護」の現状について伺います。</p> <p>① 学校アドボカシー制度の概要、利用状況について伺います。</p> <p>② 保育園等での「子どもの権利擁護」をするための取り組みについて伺います。</p> <p>③ 児童虐待相談での「子どもの権利擁護」をするための取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 今後の子どもの権利擁護のための施策の取り組みについて市の認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p>特別支援教室の現状と課題、今後の取り組みについて</p>	
	<p>稲城市においては、平成 29 年度に全小学校に「すまいるルーム」を、平成 31 年度に全中学校に特別支援教室を設置しました。</p> <p>また、平成 30 年 5 月に「稲城市立小中学校における特別支援教育の推進・充実に関する基本方針」を定めて特別支援教育を推進して来ました。</p> <p>令和 3 年 3 月、東京都教育委員会は「特別支援教室の運営ガイドライン」を作成し発表しました。</p> <p>これらのことを踏まえ稲城市における特別支援教室のこれまでの活動の点検を行い、今後の取り組みに反映していくことが必要と考えます。</p>	
	<p>(1) 稲城市における特別支援教室の取り組みの推移について伺います。</p> <p>(2) 特別支援教室の現状と課題について伺います。</p> <p>(3) これまでの点検と今後の取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	新型コロナウイルス感染症対策について	
	<p>新型コロナウイルス感染症は変異しながら流行を繰り返し、日本において現在最大の感染拡大となっています。</p> <p>ワクチン接種により高齢者の重症化は抑えられていますが、ワクチン接種後も感染の可能性はあることから完全に封じ込めることは難しく、現在の流行を抑え、今後も新型コロナウイルス感染症と対峙していくために、検査・診療体制の転換を行う必要があると考えます。</p>	
	<p>(1) 6月～8月の市内感染者の推移（入院、宿泊療養、自宅療養、調整中、総計）について、市の認識を伺います。</p> <p>(2) 自宅療養者に対する地域医療との連携について伺います。</p> <p>(3) PCR検査で陽性となり症状がある場合には、まず必要な検査や医師による診察を受け治療の方針を決めていく検査・診療体制に転換していくべきと考えますが市の認識を伺います。</p> <p>(4) PCR検査、抗体検査、抗原検査を市内で積極的に行う体制をつくることについて市の認識を伺います。</p> <p>① 医療従事者、介護職、教員、保育者、消防職員、市職員などに PCR 検査や、抗原検査を定期的に行うことについて</p> <p>② ワクチン接種が難しい方や、希望する市民に抗原検査キットを無料で配布することについて</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	新 政 会	坂田 たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
1	南山東部土地区画整理事業について	
	(1)南山東部土地区画整理事業区域内において、市民交流の場となる良好で住みよい環境づくりの実現に向け、早期に公園などの公共施設の整備・改善を図って欲しいといった声を頂いております。それらを踏まえ、公園・緑地整備について以下の点について伺います。	
	①事業区域内における、現在の公園・緑地整備計画について伺います。	
	②「南山東部土地区画整理事業区域における公園・緑地あり方検討会」において、これまでどのようなことが検討されてきたのか伺います。	
	③奥畑谷戸公園内に自然林などを活用した、アスレチック施設などを整備しては如何かと考えますが、市の認識について伺います。	
	(2)昨今、児童・生徒が車両に巻き込まれる等の悲惨な重大事故が発生し、次世代を担うかけがえのない命が失われるといった報道を目にします。そこで、事業区域周辺を含む、交通安全対策を充実させることが大変重要であると考えますが、これまでに講じてきた交通安全対策と、道路開放を行った際の交通安全対策について伺います。	
	①多3・4・16号稲城南多摩線のケーキ屋付近における、交通安全対策について伺います。	
	②多3・4・16号稲城南多摩線の商業施設前における、交通安全対策について伺います。	
	③本年の10月1日には、南山リハビリテーション病院が開業予定と伺っておりますが、多7・4・5号東長沼矢野口線における交通安全対策について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会及び関連イベント	
	について	
	1 年延期された東京 2020 オリンピック競技大会が、7 月 23 日に開	
	幕され、17 日間に渡り史上最多の 33 競技が行われました。	
	稲城市では自転車競技ロードレースのコースとなっており、男女	
	2 日間、世界中から集まった選手が市内のコースを駆け抜けました。	
	観戦自粛の中での開催ではありましたが、市民の方々が東京 2020	
	オリンピック競技大会を身近に感じることができた唯一の機会だった	
	ので、貴重な体験だったと思っております。	
	今回の東京 2020 大会では、新型コロナウイルス感染症の影響に	
	より多くの競技会場が無観客になり、関連するイベントについても	
	中止や変更となったものが多かったと認識しています。	
	そこで、市において実施された、またはやむなく変更となった	
	イベントなど東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を総括	
	するとともに、市民のレガシーとして残していく取り組みについて	
	伺います。	
	(1)東京 2020 オリンピック競技大会聖火リレーについて	
	都内では公道での聖火リレーが中止となりましたが、代わりにどのよう	
	に実施され、市としてどのように取り組んだのか伺います。	
	(2)自転車競技ロードレースについて	
	多くの会場において無観客での開催となりましたが、市内を通過した	
	自転車競技ロードレースはどのように実施されたのか、市内での	
	実施状況について伺います。	
	(3)稲城市で行ったコミュニティライブサイトについて	
	大型モニターを設置して自転車競技ロードレースをスタートから	
	ゴールまで観戦できるコミュニティライブサイトについて、緊急事態	
	宣言が発令されており、都内のほとんどの区市が中止していた中で	
	実施するにあたって、見直しや様々な感染対策を行って実施したと	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
	聞いておりますが、市の実施状況等について伺います。	
3	稲城市指定文化財の活用について	
	(1)稲城市では、平成29年度から令和2年度にかけて、積極的に稲城市指定文化財の指定を行っていることについては、文化財の保護と普及を進める事に繋がり評価しているところであります。	
	改めて、ここで指定された稲城市指定文化財の内容と指定に至った経緯について伺います。	
	(2)この四年間で指定された稲城市指定文化財は、どのような活用をされてきたのか伺います。	
	(3)これまで郷土資料室を中心とした定期的な展示の他、現地における一般公開などの取り組みも大変重要であると考えますが、一方で、多くの方に市の文化財を広く周知するには展示場所に足を運ぶことを要しないデジタルアーカイブなどの活用も必要と考えますが、市の認識を伺います。	
4	土砂災害に関するソフト対策について	
	7月3日午前10時30分頃、静岡県熱海市伊豆山地区で発生した大規模な土砂災害、「静岡県熱海市土石流災害」では、一か月が経った8月22日現在、死者24人、行方不明者3人、建物被害128棟、避難者184人も出す、大規模な人的・物的被害が発生しました。	
	静岡県の調査推定では、標高390m付近の盛土への雨水蓄積がきっかけで土石流が発生したとされています。	
	対岸の火事ではなく、市内においても土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)が指定されており、近年の豪雨により、急傾斜地の崩壊や土石流の発生する恐れがあります。	
	そこで、改めて市内の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区	

通告番号	会派名	氏名
7	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>水害対策について</p> <p>気候変動などに伴い激甚化・頻発化する風水害、迫り来る巨大地震。コロナ禍でも、こうした災害は待ってくれません。公明党は、ハード・ソフト両面にわたる防災・減災対策を推進しています。災害発生には至りませんでした。大雨に見舞われた先月8月15日。未明よりの、消防職員、市職員による警戒巡視や、市長自ら巡回視察を行うなど、その迅速な行動力に、稲城市の災害に対する危機意識の高さを強く感じました。市民の皆様の安心安全のため、水害をはじめとした災害への対策・対応の、更なる強化に期待いたします。そこで、季節柄、水害発生リスクの高い時期でもありますので、稲城市における、水害に備えた対策や災害弱者の避難、また、災害情報等の発信について改めて伺います。</p> <p>(1)水害に備えた対策について伺います。 ①市内用水路の水害対策について伺います。 ②道路の冠水対策について伺います。</p> <p>(2)避難について伺います。 ①避難行動要支援者の避難準備、避難行動について見解を伺います。 ②水害リスクのある地域における、2階以上への垂直避難の判断時期について伺います。</p> <p>(3)災害情報・避難情報について伺います。 ①突然の豪雨や、大雨が長く続く時、市民は災害の恐れを感じる場合があります。それに対する、市から市民への情報発信について伺います。 ②避難情報の発令の判断基準について伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>市民サービスの更なる向上について</p> <p>コミュニケーションの希薄化が懸念されているコロナ禍において、市民と市職員とのコミュニケーションを深めることは、市民サービスの更なる向上につながると考えます。</p> <p>(1)市民との会話やコミュニケーションに対して、市の現状について伺います。</p> <p>(2)課題について伺います。</p> <p>(3)今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
8	新政会	角田 政信

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>コロナ禍における公園利用について</p> <p>東京では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、令和3年7月12日から8月31日まで政府による4度目の緊急事態宣言が発出され、その後9月12日まで延長となりました。</p> <p>この間、酒類などを提供する飲食店には、休業要請やそれ以外の飲食店には夜8時までの時短が要請され、飲食店の閉店後、若者等が集まって路上や公園で飲食を行う場面のテレビニュースをご覧になられた方も多いと思います。</p> <p>そのような中、稲城市内の公園利用など次の事項について確認したい。</p> <p>(1) コロナ禍での公園の利用状況について伺う。</p> <p>(2) 緊急事態宣言発出後、市内の公園内におけるグループでの飲食の状況について伺う。</p> <p>(3) 緊急事態宣言発出後、市内の公園内における不法投棄の発出状況について伺う。</p>	
2	<p>スケートボード競技について</p> <p>東京2020オリンピックの新種目、スケートボードのストリートで男子では7月25日(日)に堀米雄斗選手(22歳)が初代金メダルを獲得しました。日本中が大いに沸いたのも束の間、翌7月26日(月)には、同競技女子の部で西矢椛(にしやもみじ)選手(13歳)が金メダル、中山楓奈(なかやま</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ふうな)選手(16歳)が銅メダルを獲得するという快挙です。その興奮も冷め止まぬ間に、今度は新種目、スケートボードのパーク・女子の四十住さくら(よそずみ さくら)選手(19歳)が金メダル、開心那(ひらき ここな)選手(12歳)が銀メダルを獲得です。正にオリンピックの歴史が変わった瞬間だと思えます。子供たちにも夢を与える快挙で、今後のスケートボードの人气が急上昇することが予想されます。</p> <p>(1) このような中でスケートボードについて、市への反響や体験等の要望はあるのか伺います。</p> <p>(2) オリンピックの反響は大きく、スケートボードの販売店やネットでは問い合わせや売り上げがかなり増えていると聞いており、盛り上がりを見せています。スケートボードに限らず、今回のオリンピックで初めて採用され華々しくデビューした新しいスポーツへの取り組みについて、市の認識を伺います。</p>	
3	<p>S N S の正しい使い方について</p> <p>(1) 五輪の選手に対する誹謗中傷が問題になりました。更に五輪の開幕前には、国際オリンピック委員会(I O C)の役員や関係者が情報の拡散等で相次いで辞任、解任となりました。S N S への書き込みは軽い気持ちや人の意見に同調したり、人の受けねらいであっ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>たとしても時として人を傷つけたり、又、本人が将来責任ある立場になった時に影響することがあることがよくわかる事例だったと思います。</p> <p>もちろん、正しく使えばとても便利です。先ほど言ったように、スケートボードの若い選手達が大活躍しましたが、その活躍の裏にはあまり練習場がない、指導者があまりない等、練習環境が整っていないという問題もあります。SNSを用いて情報を得ることができるので、正にSNSが必須アイテムだそうです。こういったメリット・デメリットを子供のうちから正しく伝えることが今こそ大切かと思えます。学校ではSNSに関する指導はどのようになされているか、現状を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
9	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新型コロナ対策（入院・療養、ワクチン 予防・検査、補償、学校）について</p> <p>全国各地で、新型コロナの新規感染者数が急増し、感染爆発、医療危機が深刻になっている。</p> <p>医療危機とそのもとで入院も治療も受けられない患者の急増、長引くコロナの影響による暮らしと事業の厳しさが深刻になるもと、新型コロナから市民の生命を守り、暮らしと地域を支える取り組みについて質問する。</p> <p>(1) 感染者の入院・療養について</p> <p>①感染者の市内の入院、宿泊療養、自宅療養および入院調整中の人数(7月18日と8月22日)は。</p> <p>②8月9日～15日まで、東京都内で救急搬送を求めたコロナ患者の6割が搬送されず、救急搬送されても5時間以上かかった件数が前の週の約2.3倍と急増した。同時期の稲城市の救急搬送の状況は。</p> <p>③市立病院のコロナ患者の入院状況および入院を断ったケースは。</p> <p>④コロナ感染した妊婦への対応は。</p> <p>⑤家族への感染防止のためにも、感染者は入院や宿泊療養を基本とすべきと考えるが認識は。</p> <p>(2) 予防・検査について</p> <p>①経済的に困難な家庭へ不織布マスク、簡易検査キット、除菌スプレーなどを配布すべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>②政府分科会会長は、7月30日の記者会見で「ちょっとでも具合の悪い人、感染の心配のある人は、職場、学校、地域のどこでも気軽に検査できる体制を国・自治体はその気になればできる。これをぜひやっていただきたい」と述べている。</p> <p>職場、家庭、学校などでの感染の連鎖を断つために、市民のPCR検査への補助を検討すべきと考えるが認識は。</p> <p>③妊婦への定期的な社会的（PCR）検査を実施すべきと考えるが認識は。</p> <p>④政府は、発熱などの症状がある児童生徒を迅速に検査し、感染者を発見できるよう小中学校への抗原検査の簡易キットの配布を決めた。稲城市の取り組み状況は。</p> <p>（3）ワクチン接種について</p> <p>①保育園・幼稚園・学校・学童クラブの教職員への優先接種について。</p> <p>②ワクチン接種について、市民から様々な心配の声が寄せられている。ワクチンの副作用や子どもの接種についての丁寧な説明について。</p> <p>（4）補償と支援について</p> <p>①コロナ禍で経済的に困窮している学生を対象にした、学生応援給付金の支給を検討すべきと考えるが認識は。</p> <p>②感染拡大を抑えるため、人と人の接触を減らすためには、安心してお店や仕事を休めるように、持続化給付金、家賃支援給付金の2度目の支給や、困窮者に対する給付金の抜本的な拡充などの支援が必要と考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>(5) 学校について</p> <p>①長引くコロナの影響で子どものストレスが心配されている。子どもの学びの保障と心身のケアについて、学校の基本的な取り組み姿勢は。</p> <p>子どもの権利と中学校の校則、生活指導について</p> <p>校則のあり方が社会問題となっている。人権の立場から校則を見直す地方自治体が生まれ、文部科学省が設けた外部有識者の会議でも「人権に配慮した校則」を求める意見が出されている。</p> <p>子どもの権利を尊重する立場から、子どもの権利と中学校の校則、生活指導について質問する。</p> <p>(1) 校則は子どもの権利条約や子どもの人権を尊重することを基本としたうえで定めるものと考えますが、校則、生活指導についての基本的な考えは。</p> <p>(2) 東京都教育委員会は、2019年9月、人権尊重の理念に立った生活指導の在り方についてという通知を出した。市内各学校における人権尊重の理念に立った生活指導の取り組みは。</p> <p>(3) 「ツープロックなど奇抜な髪形も控える」「下着は白を基本」などの校則は、子どもの人権の尊重の視点から見直すべきと考える。</p> <p>各学校で校則を子どもの人権の尊重の視点で見直していくべきと考えるが認識は。</p> <p>(4) 校則を、子ども、教職員、保護者が語り合い、自主的により良く変えていく機会を保障していくことが大切と考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>通学路の安全対策について</p> <p>6月、千葉県八街市の通学路で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み、児童5人が死傷する事故が起きた。</p> <p>子どもたちの生命を守る通学路の安全対策について質問する。</p> <p>(1) 通学路の安全対策の基本姿勢と取り組みは。</p> <p>(2) 子どもの横断注意の看板設置要望など、個別に寄せられる要望への対応について。</p> <p>(3) 通学路の安全対策の強化について。</p>	
4	<p>少人数学級の拡充について</p> <p>小学校全学年の学級人数上限を現行の40人から35人に引き下げる改正義務教育標準法が2021年3月に成立した。少人数学級の拡充に向けて質問する。</p> <p>(1) 少人数学級の拡充に向けた取り組みおよびスケジュールについて。</p> <p>(2) 中学校全学年までの少人数学級の拡充を国・都に求めるべきと考えるが認識は。</p>	

通告番号	会派名	氏名
10	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城長沼駅周辺土地区画整理事業と高架下の利用について</p> <p>平成5年8月から行われている稲城長沼駅前の区画整理事業について、事業認可期間が令和12年度までとなっています。ここ2年ほどで駅前のロータリーが開放され、道路の開通や駅前広場の整備・高架下のペアテラスやくらすクラス・キッチンカーの出店等により、賑わいが見られ市民の憩いの場として活用されてきていると感じています。しかしながら、未だ手つかずの地域も多く地域住民の方から厳しい声をいただく事もあることから今後の見通しについて伺います。</p> <p>(1) 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の予定について 長きにわたり行われている区画整理事業ですが、建設環境委員でも説明いただいたように完成範囲を見ると令和12年度の事業完了は厳しいと感じています。 現状と予定について伺います。</p> <p>(2) 稲城長沼駅の高架下利用について ペアテラスやくらすクラス・キッチンカーの出店等により、小さなお子様を持つ親子連れや市民の方のお散歩コースとして使用されることが増えてきたように思います。週末等にはコロナ感染予防に配慮した形でイベントも少しずつ増えてきたように感じていますが、現状について伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>市内農家の担い手の確保と支援について</p> <p>令和2年第2回定例会の一般質問では「市内農家の担い手の確保と支援について」という事を取り上げさせていただきました。 引き続き、農業者の高齢化や後継者が不足している現状から質問させていただきます。</p> <p>市では、援農ボランティアの「いなぎ農業ふれあい塾」での養成が5期目を迎え、卒業した塾生が援農ボランティアとして活躍し、自身で作った作物を収穫して商品として販売するまでしている方もいらっしゃると思っています。</p> <p>その経験から、ボランティアとしてではなく、市内で新たに農業を始めたいという方に対しても、受け入れの体制が必要になってくると考えます。</p> <p>(1) 援農ボランティアの現状について 平成28年度からスタートしている援農ボランティア養成講座「いなぎ農業ふれあい塾」の、現在の援農ボランティアの人数及び受け入れ農家の登録件数について伺います。</p> <p>(2) 東京都指導農業士制度について 東京都で創設されている指導農業士制度の概要について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	市民クラブ	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大のもと、自然災害発生時の対応について</p> <p>新型コロナウイルス感染症のほとんどがデルタ株に置き換わり、感染力を増し、自宅療養者が増えています。その中での自然災害発生時における、感染防止や命を守る対応について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養者、濃厚接触者、入院調整者の災害時の避難について伺います。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症陽性者等に対する、災害時の避難所についての考え方と周知について伺います。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症陽性者等の専用避難所の確保が来ているのか伺います。また、一般避難者とどのように区別するのか見解を伺います。</p> <p>③ 避難所において重症化した際の対応について、どのように準備されているのかを伺います。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に食料品等を支給する市独自の事業について</p> <p>① 事業について概要を伺います。</p> <p>② 申請状況について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p>コロナ禍における市主催のイベント開催の可否について</p> <p>稲城市内の大型イベントが今年度も残っています。新型コロナウイルス感染症拡大がいつまで続くのか分からない状況のなか、市民の安全・安心を最優先に考えて、イベント開催の可否を決める判断基準が求められます。</p> <p>(1) 7月30日からコンスタントに2桁の新規陽性者が出ています。その事をどの様に認識しているのかを伺います。</p> <p>(2) イベント開催の可否や延期など、市の基本的判断基準を伺います。</p> <p>(3) 今年度、市主催の大型イベントが残されています。開催には今まで以上に慎重な判断が求められると思いますが見解を伺います。</p>	
3.	<p>稲城市の緑の保全について</p> <p>森林や生産緑地も併せて、今ある緑を少しでも多く残すべきという立場で質問します。</p> <p>(1) 緑の保全について、市の基本的認識について伺います。</p> <p>(2) 緑の保全をするための具体的な施策について、どの様なものがあるのか伺います。</p> <p>(3) 緑の保全をするため、現状の課題と今後の取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4.	<p>土砂災害から市民の安全を守る為の稲城市の取り組みについて</p> <p>(1) 今回の熱海市で起きたような盛土による土砂災害に対する稲城市としての認識について</p> <p>①今回起きている災害に対して、どのような認識をしているのか市の考えを伺います。</p> <p>②今回と同じような土砂災害は、稲城市でも起こり得るという認識をしているのかを伺います。</p> <p>(2) 稲城市の高盛土開発の現状について</p> <p>①災害の危険性のある所に住む住民に対する取り組みについて伺います。</p> <p>②南山の高盛土地域における安全対策について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
12	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>保育の質の確保・向上について</p> <p>本市では令和3年4月1日時点で、待機児童0を達成し、今後より一層、保育の質の確保・向上に注力されることが期待されます。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 現状について</p> <p>①厚生労働省が2019年度に初めて行った実態調査では、暴言や虐待などの「子どもの人格、人権尊重の観点から、改善を要すると判断される行為」として、不適切な保育が345件確認されているが、本市の保育施設が含まれていないか伺う。</p> <p>②過去5年間の市内保育施設での死亡事故、治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故の発生状況と認識を伺う。</p> <p>③保育の質の確保・向上についての認識と現状の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 委託費の弾力運用について認識を伺う。</p> <p>(3) 東京都福祉サービス第三者評価の実施状況と認識を伺う。</p> <p>(4) 公立保育園の役割について認識を伺う。</p> <p>(5) 保育の質の確保・向上について今後の取組みを伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="310 257 823 302">子どもの事故予防について</p> <p data-bbox="310 358 1246 638">子どもが事故により亡くなるという状況は年々減少していますが、子どもの死因の中ではいまだに不慮の事故が上位にあります。事故の発生を防ぎ、万が一事故が発生しても被害を最小限にとどめるため、さらに取組みを進めていく必要があると考えます。そこで、以下について伺います。</p> <p data-bbox="321 694 964 739">(1) 園バスにおける事故予防について</p> <p data-bbox="376 750 1183 840">認定こども園・幼稚園の園バスについて、現在、どのような安全対策が行われているのか伺う。</p> <p data-bbox="321 884 1113 929">(2) 川や海など水辺における事故予防について</p> <p data-bbox="337 940 1238 1030">①子どもの水難事故防止の普及啓発の取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="337 1041 1238 1131">②小中学校の授業での水辺の事故予防の取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="337 1142 838 1187">③今後の取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="321 1232 956 1276">(3) 通学路における事故予防について</p> <p data-bbox="337 1288 1238 1377">①通学路の定義と各学校における通学路の設定について伺う。</p> <p data-bbox="337 1388 1238 1478">②令和2年中に市内の通学路上で児童生徒及び幼児が被害に遭った事故件数について伺う。</p> <p data-bbox="337 1489 1238 1579">③令和2年度の市内通学路における、交通安全対策について具体的な内容を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="315 259 906 297">コロナ禍の妊娠・出産について</p> <p data-bbox="310 365 1248 591">コロナ禍の妊娠や出産後の子育て環境において、新型コロナウイルスへの感染不安や、里帰り出産が難しい、親族の支援が受けられないなど、妊産婦が抱える不安はこれまで以上に大きく、公的支援の拡充が必要であると考 えます。そこで、以下について伺います。</p> <p data-bbox="326 651 1208 734">(1) コロナ禍の妊娠や出産後の子育て環境について、 コロナ禍以前との変化について認識を伺う。</p> <p data-bbox="326 795 1172 833">(2) 妊産婦が孤立しないための支援について伺う。</p> <p data-bbox="326 893 777 931">(3) 産後ケア事業について</p> <p data-bbox="341 943 1240 1025">①今年度の6月から産後ケアが市の事業としてスタートしたが、利用状況について伺う。</p> <p data-bbox="341 1037 1240 1173">②稲城市立病院で出産し、退院日から引き続き利用される方以外は、PCR検査費25000円の負担が発生するが、理由について伺う。</p> <p data-bbox="326 1234 1240 1413">(4) コロナ禍での育児支援ヘルパー事業について、妊婦や子育て世帯の負担軽減のため、とうきょうママパパ応援事業の補助金を活用し、多胎児同様、利用料の減額ができないか伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>大丸都営跡地の活用について</p> <p>(1) 住宅展示場施設の進捗状況についてききます。</p> <p>(2) 南北をつなぐ通路の整備について、市の認識をききます。</p>	
2	<p>私立保育園への補助について</p> <p>(1) 「民間保育所等振興費補助金」の今年度予算の内訳についてききます。</p> <p>(2) 令和 2 年度から補助要綱が見直しされ実質的に補助額が減額されたことで、私立保育園の運営にどのような影響があったか、認識をききます。</p>	
3	<p>市立病院の耳鼻咽喉科について</p> <p>(1) 市立病院の耳鼻咽喉科の状況についてききます。</p> <p>(2) 今後の対応についてききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>iバスの運行本数の拡充について</p> <p>(1) 運行本数の拡充について市の認識をききます。</p> <p>(2) 南山地域への運行について市の認識をききます。</p>	
5	<p>稲城市内のナラ枯れの対策について</p> <p>(1) これまでの稲城市のナラ枯れ被害の状況と市の対策の概要についてききます。</p> <p>(2) 多摩サービス補助施設とその周辺の緑地に、ナラ枯れが拡大していることについての認識と対策についてききます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
14	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>小学校と幼稚園・保育所等の連携・接続(幼保小連携)の強化について</p> <p>幼稚園・保育所等から小学校への移行期は、自身の成長を実感する喜びと共に人のかかわりや周囲の環境が大きく変動し、戸惑いや不安を感じる児童が少なくありません。市・市教育委員会では小1ギャップ・小1プロブレム・小1の壁と言われる急激な変化を緩和し、子どもの発達や学びの連続性の確保に努められているところですが、小学校と幼稚園・保育所・認定こども園・認証保育所との連携・接続をさらに強化し、子どもや保護者に寄り添いながら稲城市で育つ子どもの健やかな成長を育む環境整備を向上していただきたいと考え伺います。</p> <p>(1)幼児と小学生の教育交流活動について</p> <p>幼児と児童が一緒に過ごす時間や場を設定し、直接触れ合う機会をもつことは、小学校への円滑な接続に有効であることから幼児と小学生の教育交流活動について、各小学校の取り組み状況について伺います。</p> <p>(2)5歳児のアプローチカリキュラムについて</p> <p>市内保育所・幼稚園・認定こども園・認証保育所のアプローチカリキュラム等による幼保小の連携・接続の取り組みについて伺います。</p> <p>(3)小学1年生のスタートカリキュラムの取り組みについて</p> <p>幼児教育を土台とした小学1年生のスタートカリキュラムによ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>る幼保小の連携・接続の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(4) 保護者向けの学校説明会について</p> <p>5歳児本人は小学生との教育交流活動が行われているところではありますが、保護者の方を対象に稲城市の学校教育・小学校の特色を紹介説明し、安心して入学手続きを進めていただけるよう行っている保護者向けの学校説明会の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(5) 「(仮称)もうすぐしょうがくせい 稲城なしのすけカレンダー」の作成・配布について</p> <p>5歳児と保護者向けに、各家庭で入学までの予定を書き込んで活用していただける「(仮称)もうすぐしょうがくせい 稲城なしのすけカレンダー」等の様式を作成し、印刷及び web 配布することについて伺います。</p>	
	<p>(6) 幼保小連携・接続研修会・協議会について</p> <p>幼稚園・保育所・認定こども園・認証保育所の教職員・保育士等が幼保小連携・接続の強化についてさらに理解を深め、連携を強化し、取り組みを推進するための研修会や協議会等の開催について伺います。</p>	
2	<p>児童・生徒の多様な才能に配慮・支援する教育について</p> <p>東京 2020 オリンピック競技大会では多くの10代選手が活躍し、中学生のメダリストにも注目が集まりました。</p> <p>稲城市立小中学校においても、学校内外の活動で多様な才能を生かし活動に励まれている児童・生徒の皆さんが大勢</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>いると聞いております。児童・生徒の多様な才能に配慮・支援する教育について伺います。</p>	
	<p>(1)市教育委員会の児童・生徒表彰について 令和2年度の稲城市教育委員会児童・生徒表彰について、表彰対象となった児童・生徒・団体の功績や人数等について、またこれまでに国際的な大会やコンクール等での活躍の実績等について伺います。</p>	
	<p>(2)「ギフテッド」と呼ばれる突出した才能に恵まれた児童・生徒への特別支援について 記憶力や言語能力、数学力などに優れながら、周囲の理解不足などから学校での学習や生活に困難を抱える児童生徒がいらっしゃるということです。このような児童生徒を含めた学校での学習や生活に困難を抱える児童生徒への特別支援について伺います。</p>	
	<p>(3)スポーツ・芸術分野において才能を有する児童生徒への支援や配慮について スポーツ・芸術分野において才能を有する児童生徒について、その才能伸長のトレーニングと学業の両立について大変ご苦労があると聞いております。大会やコンクール、合宿等に参加するため学校を欠席しなくてはならないような児童生徒に対する支援や配慮について伺います。</p>	
3	<p>父親の積極的育児を応援し、パパもママも参加しやすい市事業や市施設の環境整備について 以前の父親の「育児参加」から父親の「積極的育児」の時</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	代に移行してきた(平成 29 年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業報告書)とのことです。	
	妊娠・出産時から父親の育児・家事への関わり方がその後の家族の意識形成に大きく関係すると考えられており、「積極的に関わりたい」という希望はあるものの、「家事・育児に関する知識や経験を得る機会が少なく、具体的な方法がわからない」といった声も寄せられています。	
	パパもママも参加しやすい機会の提供が必要と考え、市の子育て支援事業や子育て支援施設の利用について父親等の男性参加・利用促進に向けた環境整備について伺います。	
	(1)子育てひろば(地域子育て支援拠点)の父親等の男性の参加状況について	
	土曜日開催が始まった子ども家庭支援センター「あそびの広場」や市内8カ所の保育園の子育てひろば事業への父親等の男性の令和3年度の参加状況について伺います。	
	(2)乳幼児の予防接種や健診等の父親等の男性の参加状況について伺います。	
	(3)父親の積極的育児を応援する、パパもママも出かけやすい公共施設や市事業の環境整備向上について	
	①市内公園のだれでもトイレや男性トイレのおむつ替え台や個室のベビー専用チェアの設置状況について	
	②児童館の子育て支援事業の父子の参加状況について	
	③iプラザ青少年エリアの子育て支援事業の父子の参加状況	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	について	
	④子育てサポーターの日の父子の参加状況について	
	⑤公民館「親と子の教室」や「ベビーマッサージ」などの社会教育における家庭教育支援事業の父子の参加状況について	
	⑥図書館「おひざにだっこのおはなし会」等や城山体験学習館事業の父子参加の状況について	
	⑦総合体育館「ちびっこプレイルーム」の父子の利用状況について	
	(4)公民館の子育て支援事業におけるパパもママも参加できるや保育付き事業について 育児休業中や休日の父親も参加し家事・育児に関する知識や経験を得られることが重要と考えます。公民館の家庭教育支援における父子参加や保育付き講座など、パパもママも参加しやすい子育て支援事業の機会の提供について伺います。	
	(5)パパもママも参加しやすい乳児食等の調理教室「ベビークッキングレッスン」について 離乳食の調理方法や栄養の知識など、子供の成長と発達に応じた離乳食の準備や支度は父親の積極的な育児にとって大事なスキルになることと考えます。出産前時期に新生児の入浴法など両親学級等で行われておりますが、妊娠期や出産後の保育付きの事業として、パパもママも参加しやすい離乳食教室の機会の提供について伺います。	

通告番号	会派名	氏名
15	市民クラブ	あらい 健

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>10月10日現在の市長と守田のり</p> <p>10月にオーパスする、南山(11)病院に10+病棟を新設することはできないか</p>	
2	<p>坂染のまろぐ(1)</p> <p>(1) 坂染 北のまろぐ(1)</p> <p>(2) 坂染駅、新設の可能性は</p> <p>(3) 坂染駅のまろぐ(1)</p> <p>(4) 南山、平尾、豊川に通勤、農業、観光の利便を高めるまろぐ(1)</p>	
3	<p>市内交通の拡大とむけをとりくみか</p> <p>路線バス、拡大、ダイヤ改正は</p> <p>地域公共交通会議の動向と今後の見通し</p>	
4	<p>平尾交通圏の解決について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	子どもへの新型コロナウイルス感染症の感染が増え始めている中での小・中学校の感染対策について	
	<p>全国で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、従来株よりも子供の感染リスクが高いとされる変異株「デルタ株」への感染が進み、家庭内での感染が増加している。親から子どもへの感染が主流であったコロナウイルスが、現在では子どもから親に感染が広がる事例が増え始めている。厚生労働省のまとめなどによると、新規陽性者全体に占める10代以下の割合は、7月12～18日に14・7%だったが、8月2～8日には17・1%に増加しており、1カ月ごとの数字も3月以降は増加が続いており、7月には過去最高の14・8%まで上がってきている。医療現場からは、感染拡大の第5波で今までと局面が変わったとの指摘もある中、子供同士の接触が増える新学期を前に、子どもの感染をどの様に防ぐか苦悩しているとも聴いている。</p> <p>稲城市の小中学校では、新学期を迎えるに当たりどのように考えられているのか、感染対策について伺います。</p>	
	(1) 夏休み中の児童・生徒の感染状況について伺います。	
	(2) 子どもへの感染が増加している現状をふまえ、新学期を迎えるに当たりどのように考えられているのか伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(3) 学校での更なる感染対策について伺います。	
	(4) 学校行事の現状と今後の対応について伺います。	
	① 小学校の現状と対応について伺います。	
	② 中学校の現状と対応について伺います。	
2	新型コロナウイルスワクチン接種が進んできた中での高齢者の自主グループ活動について	
	<p>新型コロナウイルスワクチン接種が進められている状況において、稲城市では65歳以上の方(約2万人)に対して、ワクチン接種を2回受けた方が約86.6%(令和3年8月18日現在)まで進んでいます。高齢者にとってワクチン接種が、感染症対策の全てとはいきませんが、一定の感染対策になっているかと思えます。高齢者は運動・交流の機会が減り、心身ともに虚弱な体質に変わってしまうことが懸念されております。市においても自主グループ活動を積極的に実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、要介護状態になってしまった方もおられるかと思えます。市では自主グループ活動、自宅でのフレイル対策など、コロナ禍でも活動が取り組めるよう、新たな活動方法などルールづくり等を行ない、活動再開に向けて取り組んできたと思えます。新型コロナウイルスワクチン接種が進んできた中での自主グループ活動について伺います。</p>	
	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による要支援者・要介護者が増えてきているのか伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(2) 新型コロナワクチン接種が進んできた中での自主グループ活動についての考え方について伺います。	
	(3) 昨年、一昨年の同時期と比較して自主グループ活動に変化があったのか、グループの活動数と活動状況について伺います。	
	(4) 活動を休止しているグループへの働きかけと支援について伺います。	

通告番号	会派名	氏名
17	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災と救急に関する稲城市の取り組みについて</p> <p>昨年夏に大雨特別警報の発表基準が見直され、今夏も西日本を中心に線状降水帯が発生し、広島市では同警報が2度も発出された。また、本年5月には避難情報が変更となり避難勧告が廃止、避難指示に統一されたが、</p> <p>(1) 水害対策としてのインフラ整備について</p> <p>①都市整備の一環として一昨年、昨年の本会議にて取り上げさせていただいた多摩川水防拠点について、その後1年間の進捗状況を伺う。</p> <p>②併せて、平成25年7月に確認が取り交わされた旧スーパー堤防・C工区における盛り土造成等について、換地等話し合いはどのようになっているか伺う。</p> <p>(2) 市内民間における応急救護について</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の渦中において、市民による応急救護に関してはどのように行うべきか、市の方針を伺う。</p> <p>②日本AED財団によると、1年間で約7.9万人、1日に約200人、7分に1人が心室細動により命が失われている。いなぎマップや日本救急医療財団全国AEDマップにも掲載されているが、市内民間施設に対するAEDの適正配置について市としてはどのような取り組みがされているか、伺う。</p>	

稲城市立小中学校の教室・教員確保、タブレットの活用について

本年春、改正義務教育標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案）が成立し、今年度から5年間で1クラスあたり35人に引き下げることが決まった。また今夏には文部科学省の中央教育審議会において教員免許更新制が廃止と決まりニュースとなっているが、

（1）教室の確保について

①本年、平尾小学校では既に教室数が足りない状況となり、改善について提議した。今後、全校全学年において35人学級を実現するには確実に普通教室の数が足りなくなると推測されるが、市としてはどのような対応策を考えているか、伺う。

（2）教員の確保について

①稲城市において教員の未配置の状況は発生していないか伺う。

②同じく、臨時採用などの非正規雇用の教員があるのか伺う。

③今後の教員不足に対して、市としてどのような方針で確保に動くのか伺う。

（3）タブレットの授業・校務改善への活用について

①昨年途中にタブレットを導入・配布したが、授業活用はどのようになっているか現状を伺う。

②学校内におけるICT環境の整備、GIGAスクールサポーターへの委託、教員のスキルアップ及び校務改善への効果はどのようになっているか現状を伺う。

稲城市姉妹友好都市との交流活性化について

当市では平成3年に大空町（旧女満別町）と姉妹都市になり、平成27年に相馬市・野沢温泉村と友好都市協定が結ばれた。そして本年7月27日に稲城市としては初の海外姉妹都市提携となる米国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市とのZOOMによる締結式が行われた。発足した稲城市姉妹友好都市交流協会に市民の期待が寄せられるが、

（1）効果について

①姉妹友好都市の誕生でどのような効果が期待されるのか、改めて市の見解を伺う。

（2）市民の心に根付く方策について

①これまでに、学校における移動教室、スキー教室やスポーツ、文化芸術、物販等を通じた交流が行われているが、これらの効果はどのように顕れているか、伺う。

②稲城市役所からそれぞれの直線距離を測ってみたところ、大空町役場まで1002.33km、野沢温泉村役場171.77km、相馬市役所271.19km、そしてフォスターシティ・シティーホール8311.99kmという数字が出る。市内道路にも古代から現代まで様々な道標等があるが、姉妹友好都市の道標を設置することで市民の方々の興味喚起に役立てるのも一案と考えるが、見解を伺う。